

# 【外国語活動・小3・「Unit7 This is for you.」①】

## 育成を目指す資質・能力

〔知識及び技能〕

自分の作ったカードを紹介するための表現を知り、慣れ親しむことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕

学級の友達に感謝の気持ちを伝えるために、相手に伝わるように工夫しながら、自分のカードを紹介することができる。

〔学びに向かう力、人間性等〕

学級の友達に感謝の気持ちを伝えるために、相手に伝わるように工夫しながら、自分のカードを紹介しようとする。

## ICT活用のポイント

自分の発表練習の様子を録画して視聴することで、より良い発表をするための客観的な視点を持つことができる。

【つかむ】

本時のめあてをつかむ  
相手に気持ちが伝わるように  
自分のカードを紹介する

事例の概要

- 自分が作成したカードを紹介する練習をする。
- 他の児童の前で自分が作成したカードを紹介する。

【追究する】

自分の作成したカードを紹介  
するための発表練習をする  
カードを紹介する

【事例におけるICT活用の場面】

- ALTのモデル文をリピート練習した後、自分が作成したカードの発表練習を行う。
- Smile (feeling) , Eye contact, Clear voice, Response等発表の際に気をつけるべきポイントを確認する。
- 自分の発表練習を録画し、視聴する。自分の発表を客観的に見直し、よりよい発表となるよう練習する。

【まとめる】

振り返りカードに記入をする

# 【外国語活動・小3・「Unit7 This is for you.」②】

## 【事例におけるICT活用の場面】



練習前

発表の際に気をつけることを確認



児童

練習中

自分はこんな風に発表をしているのか。もう少しアイコンタクトを意識して練習してみよう！

自分の発表の様子を事前に見ることができたので、ポイントを意識して練習を繰り返し、自信をもって発表することができた。

自信をもって発表するためには、十分な練習が必要となる。

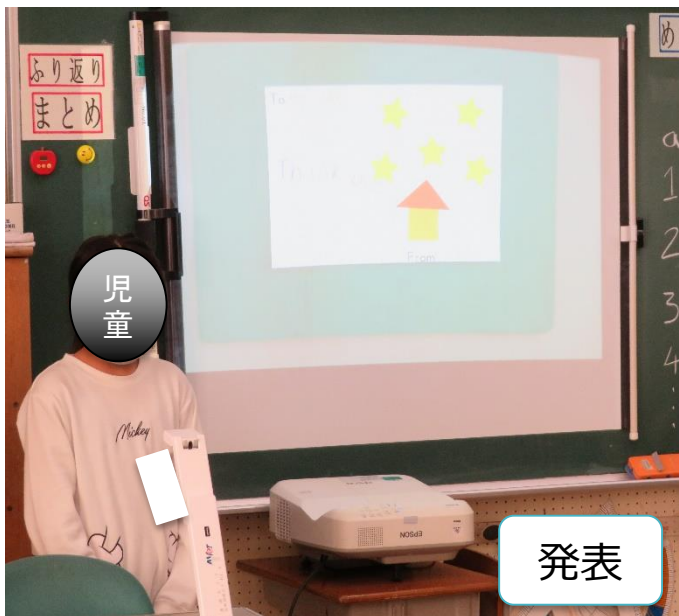
しかし、ただ練習するだけでは飽きてしまったり、発表のポイントがずれてしまったりすることがあった。

本事例にあるICTの活用によって、児童は、これまで見ることのなかった自分の発表の姿を確認することができるようになった。自分の姿を客観的に捉えることでポイントに沿った発表に近づけたり、よりよい発音にしようとする意欲的に取り組んだりする姿が確認できた。

また、活動が終わった後に、自分の練習の様子と本番の様子を比べる姿も見られた。

### 【活用したソフトや機能】

- ・ICT端末のカメラ
- ・動画撮影、動画再生
- ・実物投影機



児童

発表